

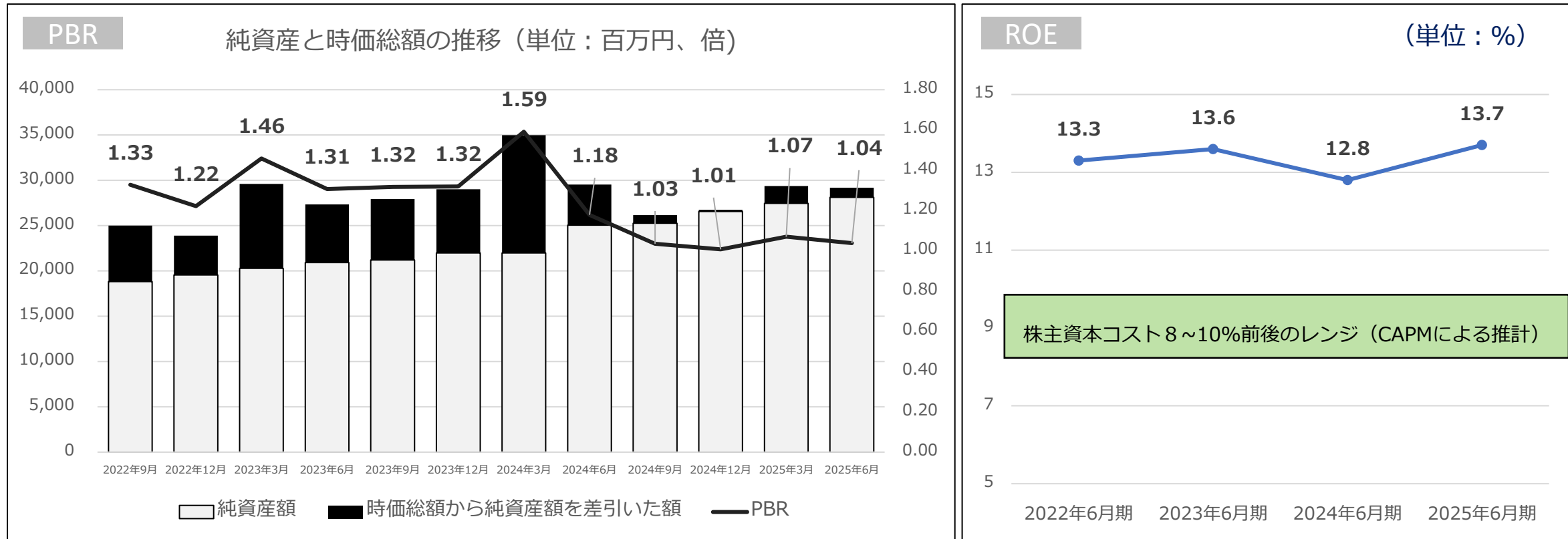
# 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

コア商事ホールディングス株式会社  
2025年9月18日



# 当社の現状認識 (PBR)

- 当社のPBRは、1倍を超えて推移しているが、2025年6月期は1株当たり純資産の増加に対して、株価が下落したことにより、PBRは低下
- ROEは、株主資本コストを上回る水準で推移

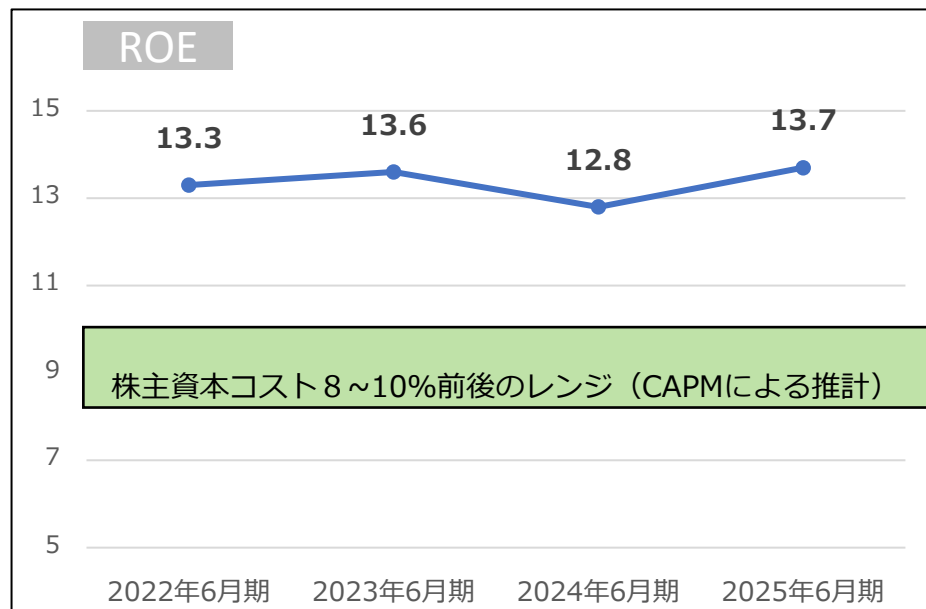


# 当社の現状認識 (ROE)

- ROEは、2022年6月期以降13%以上で推移したが、2024年6月期は公募増資等もあり12.8%へ減少した  
2025年6月期は利益率向上等により13.7%へ増加
- ROEを売上高純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジと分解すると、売上高純利益率が伸びている一方で、財務レバレッジが株主資本の増加により低下傾向
- 2025年6月期末の自己資本比率は77.9%と高く、借入金を活用しさらなる成長につなげることが可能

ROEの分解

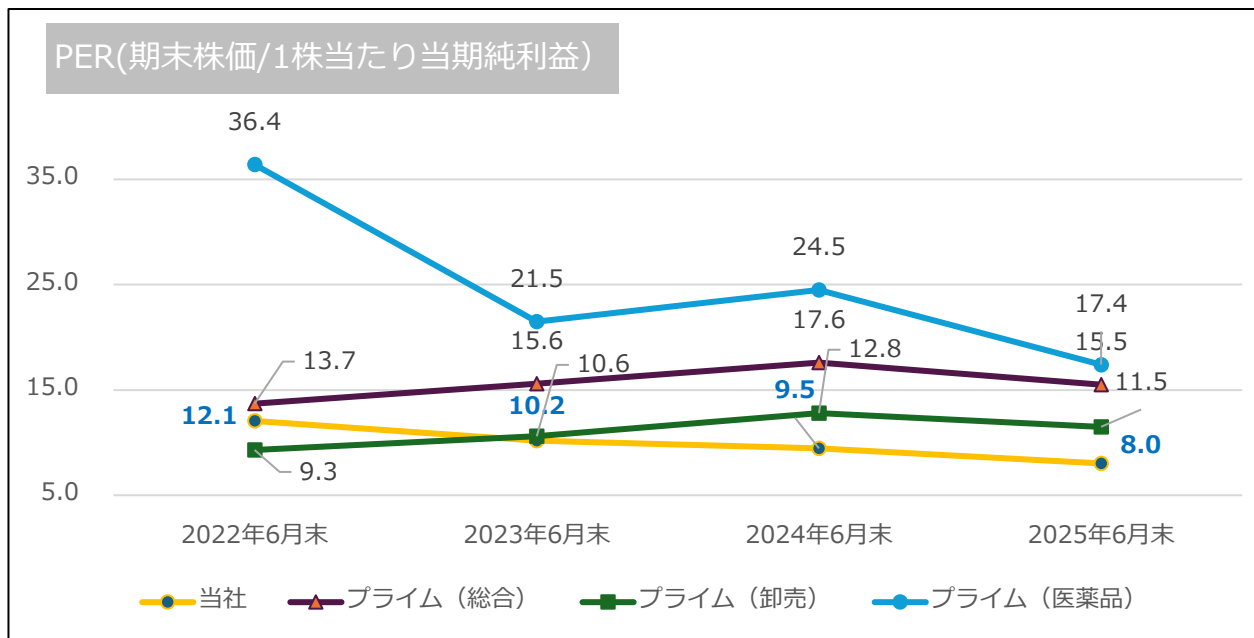
$$\text{ROE (自己資本利益率)} = \text{売上高純利益率 (当期純利益/売上高)} \times \text{総資産回転率 (売上高/総資産)} \times \text{財務レバレッジ (総資産/株主資本)}$$



	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期
ROE	13.3	13.6	12.8	13.7
売上高純利益率	11.6	12.2	13.3	<b>15.6</b>
総資産回転率	79.7	80.6	73.2	68.3
財務レバレッジ	144.3	138.2	131.5	<b>128.1</b>

# 当社の現状認識 (PER)

- PERは成長率、蓋然性、継続性が関連し、株主還元や認知度、流動性によって変動すると言われ、2025年6月期末ではプライム市場の総合や卸売業、医薬品業と比較して低い値となっている。
- 当社は2024年4月に2030年6月期の長期事業計画の財務目標を、2025年8月に2026年6月期から2028年6月期まで中期経営計画を公表しており、目標の達成に向けた蓋然性を示すフェーズとなっている。
- 配当性向（18.5%）や流動性の低さもPERに影響していると考えられる。



# 取組み方針：ROE目標について

ROEの目標として2028年6月期までの中期経営計画では12%以上、2030年6月期の長期財務目標では更なる向上を目指すとしている。

これは、売上拡大に対応するための事業基盤を強化に向けた人員増加による人件費や、蔵王第二工場の建設と両セグメントにおける主要拠点の維持更新に伴う修繕維持費、減価償却費等の上昇等を考慮し、ROEは12%以上の水準を維持することを目標としている。

## II-3. 中・長期財務目標

KOA

『成長ドライバーである医薬品セグメントを拡大させ、  
2030年6月期までに**連結営業利益80億円**を目指す。』

財務	2024年6月期 (実績)	2025年6月期 (実績)	2026年6月期 (業績予想)	2028年6月期 (中期目標)	2030年6月期 (長期目標)
連結売上高 (内部取引除く)	22,134	23,269	25,700	31,900	40,000
連結営業利益	4,382	5,355	5,430	6,530	<b>8,000</b>
ROE	12.8%	13.7%	12%以上		更なる向上 を目指す

(単位：百万円)

### ROE > 資本コストを維持・向上するための施策

- 両セグメントの高収益体質の継続
  - ・ 原薬セグメント：新規収載品の採用件数増加
  - ・ 医薬品セグメント：主力製品の増産等による収率と稼働率向上による生産の効率化
- 資本収益性を高める資本・財務戦略の推進
  - ・ 長期安定的な配当の継続
  - ・ 借入金の活用による成長投資を推進

※2025年6月期決算補足資料より

# 取組み方針：キャッシュ・アロケーション

## 今後3年間で創出するキャッシュを成長に向けた投資と株主還元に分

2026年6月期 ~ 2028年6月期



### <方針>

投資、回収、還元というサイクルを回し、**持続的な成長**を実現する

#### ■株主還元

- ・配当方針である「原則、毎年増配」を基本として、**長期安定的な配当を継続**  
配当金額は配当性向20%以上を目安に総合的に判断し、決定する

#### ■主な成長投資

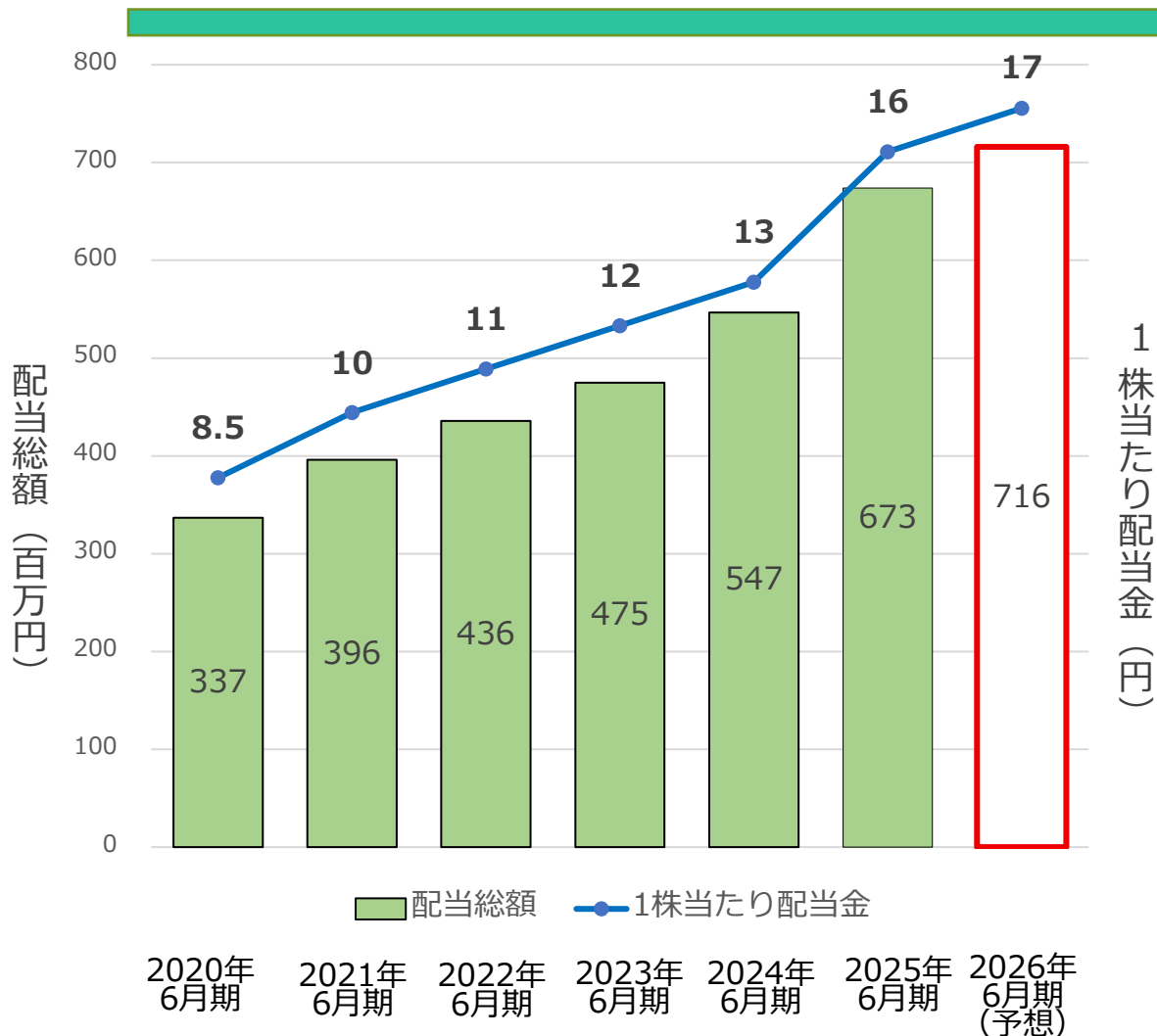
##### <原薬セグメント>

- ・横浜医薬分析センターの更新
- ・更新に伴う既存拠点の改修工事 等

##### <医薬品セグメント>

- ・蔵王第二工場建設
- ・本社工場の更新
- ・包装機械導入 等

# 取組み方針：配当政策



2020年6月期 2021年6月期 2022年6月期 2023年6月期 2024年6月期 2025年6月期 2026年6月期(予想)

※これまで実施した株式分割の影響を考慮して算出

## 配当方針：「原則、毎年増配」

2026年6月期も、配当金を17円へ**増配**を予想。  
配当性向20%以上を目安に総合的に判断。

### ➤配当政策：

- 株主の皆様に対する利益還元は経営の重要課題と位置付け、「**原則、毎年増配**」を基本方針
- 将来にわたる企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保を充実させる
- 今後も成長が見込まれる事業分野に経営資源を投入し、**企業の持続的成長と中長期的な企業価値、株主価値の向上**を目指す

### ➤配当基準日：6月末日

# 取組み方針：成長投資と株主還元

投資、回収、還元というサイクルを回し、企業を**持続的に成長させ**  
資本コストを意識した経営を実現



## 設備投資



中・長期成長戦略で掲げる

- 医薬品専門商社
- 特長のある注射剤トップメーカー  
に向けた**設備投資**を推進

## 回収・リターン



中長期的な成長に向けた  
事業計画を作成し、**数値目標を公表**

## 株主還元

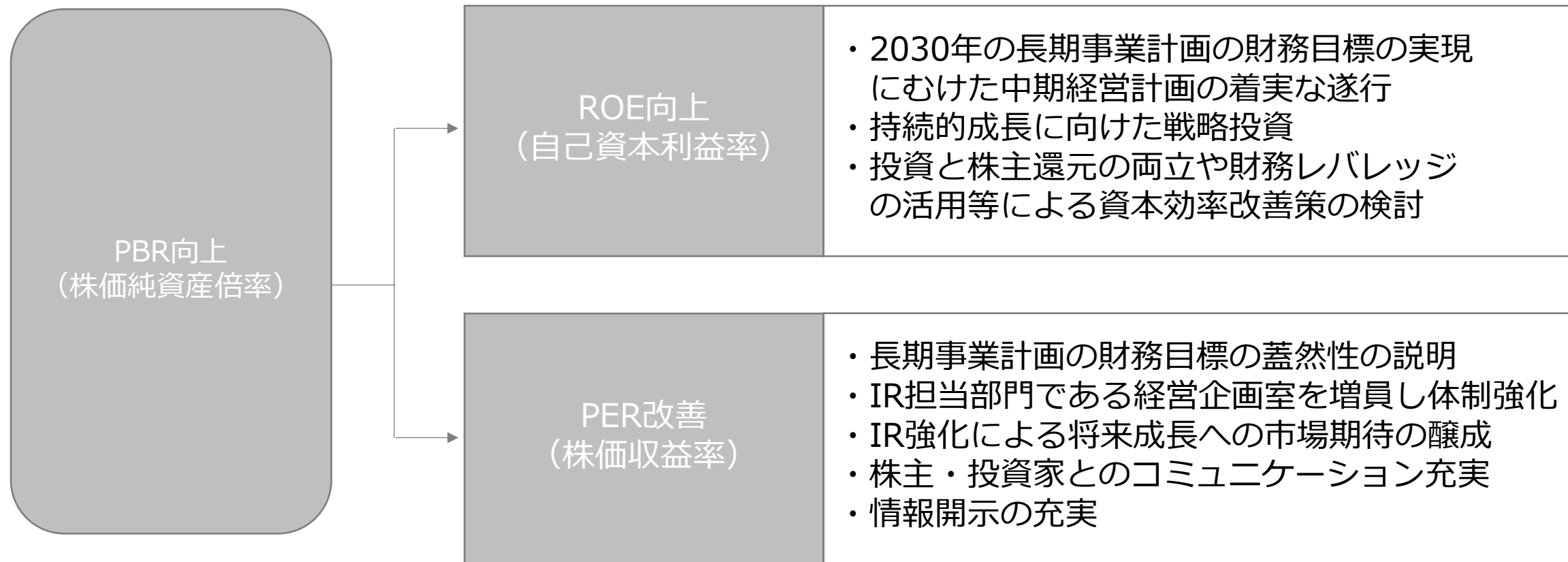


**原則、毎年増配**

利益を意識した配当の維持・増配を実施

# 取組み方針：PBR向上へ向けて

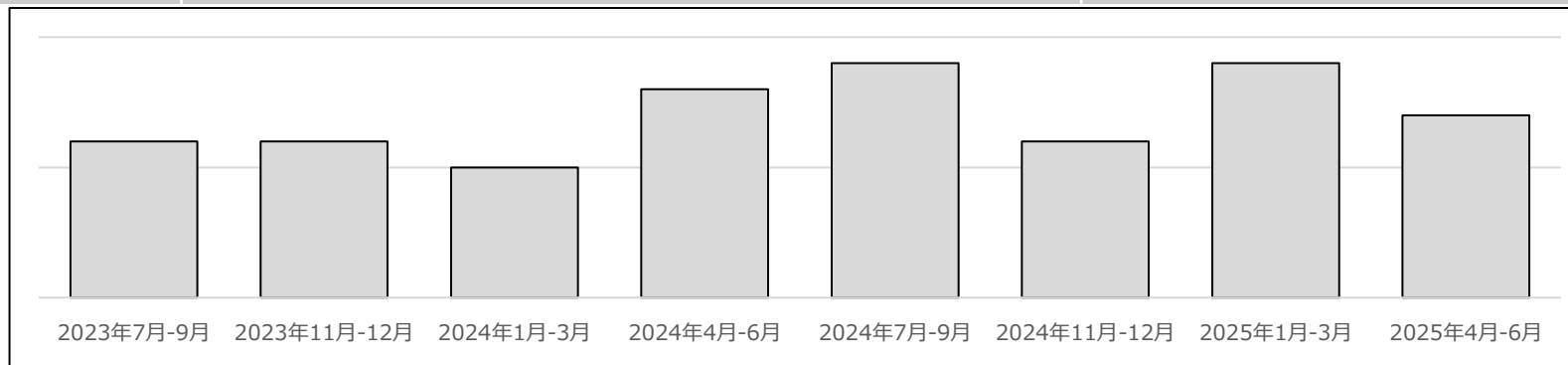
PBRをさらに向上させるために、更なる企業価値向上に取り組む



# 株主・投資家との対話実績（2025年6月期）

## ・対話活動の実績

活動内容	実施回数	対応者
決算説明会	1回（2025年8月） （前年同期比実績1回）	社長 財務経理担当取締役 事業開発・経営企画担当取締役
個人投資家向け説明会	1回（2025年3月） （前年同期比実績1回）	社長 財務経理担当取締役 事業開発・経営企画担当取締役
機関投資家・アナリストとの個別面談	実施回数は25件から31件へ増加	事業開発・経営企画担当取締役 経営企画室長



# フィードバック状況（2025年6月期）

- ・ 経営陣へのフィードバック

フィードバックの手段	報告者	報告頻度
取締役会での定期報告	経営企画室長	半年1回
投資家との面談における質疑応答の内容を社長や事業会社幹部へ報告	経営企画室長	都度

- ・ フィードバックや対話を踏まえて取り入れた主な事項

要望	取り入れた事項
第1四半期や第3四半期についても本決算や中間決算と同等水準の情報開示を行って欲しい。	今年度より毎四半期に決算補足資料を作成し公表
医薬品セグメントの売上についても、内訳が知りたい	決算補足資料の中で、工場別の売上高の推移を公表
決算でポイントとなる点を資料の冒頭で強調することや、短信などでは制約上掲載できない情報を盛り込むことで、補足説明資料を通じて当社への理解を深める工夫ができないか	2025年6月期第3四半期から、決算補足資料にて市場環境や業績動向に関する概況ページを追加

# 免責事項

---

この資料は投資家の皆様の参考に資するため、コア商事ホールディングス株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、説明会開催日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



医薬品を  
上流から  
支える。

コア商事ホールディングス株式会社 (証券コード: 9273)